

「日本ラグビー デジタル・ミュージアム」プロジェクト ～デジタル画像が語る日本ラグビー史～

日本ラグビー デジタル・ミュージアム



2019年10月
公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会
日本ラグビーデジタルミュージアム プロジェクト

公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会
アーカイブ担当

とみ おか えい すけ
富岡 英輔



「日本ラグビー デジタル・ミュージアム¹」とは、「ラグビー文化資源をデジタル化・公開するためのクラウド型プラットフォームシステムの構築」と考えています。

公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会（以下JRFU）は90年以上の歴史があるにもかかわらず、集積された歴史的な記録類を公開することなく、保存していただけでした。

そこで、2019年ラグビーワールドカップTM（RWC）開催を迎えるにあたり、これまでのJRFUの歴史を培った人達の記録を公開し、その大会（試合）記録をレガシー（次世代への贈り物）として伝える義務と責任があると考え、2019年は日本のラグビー史を世界に発信する絶好の機会であると捉えました。

事業の概要と目的

JRFUでは、図書館振興財団の助成をいただき、これまでに収集した貴重な資料・写真を整理・分類、デジタル・アーカイブ化し、ジャパンサーチと連携して文化を世界に公開することを目指しました。

「日本ラグビー デジタル・ミュージアム」構築の具体的な実施計画

◎第1期事業（2018年11月～2019年9月）

- ①『日本ラグビーフットボール協会80年史』（JRFU発行2007年）及び『日本ラグビー全史』（日比野弘／著 ベースボール・マガジン社2011年）のフルテキスト化
- ②JRFU発行機関誌（Vol59まで）のデ



慶應義塾体育會蹴球部創期メンバー、初の対外試合に臨む(1901年)

1 <https://trc-adeac.trc.co.jp/WJ11C0/WJJS02U/1310375100>



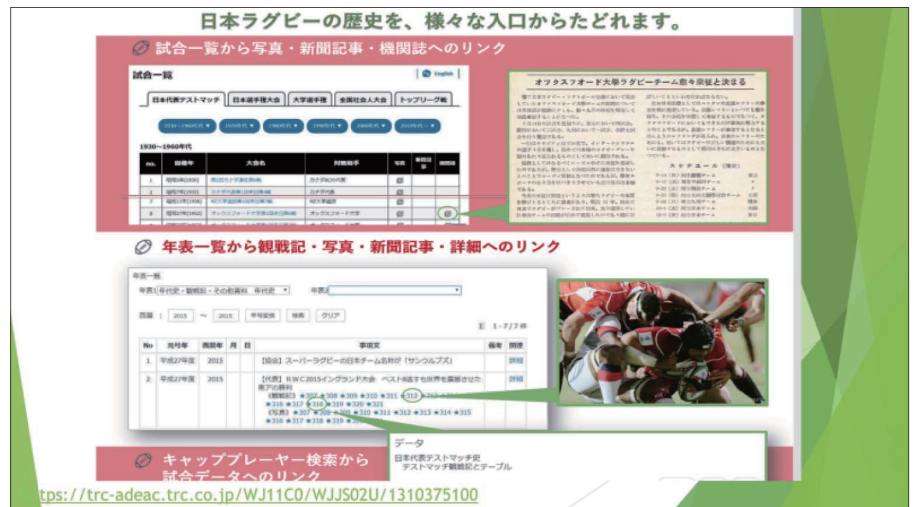
- ③収集されたアナログ写真のデジタル化、デジタル写真のデータベース化
- ④歴代キャップホルダー情報のデジタル化
- ⑤『日本ラグビー全史』刊行以降のテキスト化とデータ整備
- ⑥主な資料の英訳、仏訳、西訳（一部）
- ⑦ADEACへの掲載・2019年9月公開

●第2期事業（2019年10月～2020年9月）

オリンピック競技となった男女7人制の記録、RWC2019日本大会の記録などを公開予定です。

●第3期事業（2020年10月～2021年9月）

2020年東京オリンピック終了後は、全国のラグビー関係者やファンの要望を確認し、15人制の女子ラグビーについて、また日本のラグビー発展に寄与した大学ラグビーの歴史、関西のラグビーの歴史、九州のラグビーの歴史などの詳細情報を整備し、ADEACを通して発信を計画する予定です。



第一期におけるデジタル化の対象資料とテキスト化

- ・機関誌：JRFUが発行した機関誌（1951～2017年）を対象とした。特に1951年からデジタル・データ化されていない機関誌（約2万頁）は原本からスキャン
- ・新聞記事の記録：スクラップブックに整理された1967年までの新聞記事約4千点をスキャン

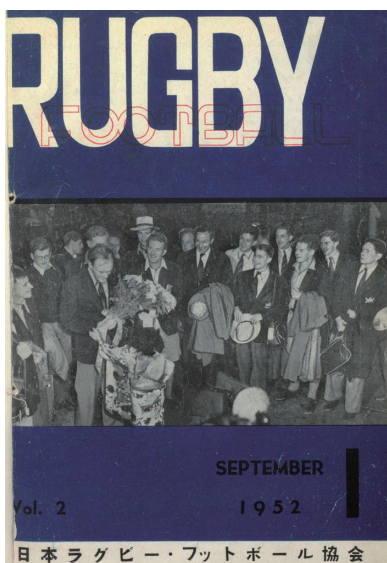
- ・アルバムに整理された写真約1,500点を同様にスキャン
- ・すでにデジタル化されていた写真約3,000点と機関誌約22,000頁をデータベース化
- ・テキスト化文書約1,000頁

「日本ラグビー デジタル・ミュージアム」の機能

大きな特徴はラグビー史年表から観戦記、写真、新聞記事などが検索・閲覧できます。特に日本代表に選出された選手（キャップホルダー）全員を掲載し、過去の栄光を垣間見ることができます。

終わりに

近年、デジタル・アーカイブ戦略が国家的プロジェクトとして推進され始めています。さまざまな分野に貴重な歴史資料や美術工芸品が存在し、それらを保存・公開することは所蔵機関の義務と責任です。今回デジタル化し公開することは、まずはデータ化された素材を編集し、システムに搭載する作業と60年間以上未整備の機関



JRFU発行機関誌1952.1



日本代表3 - 34NZ代表コルツ1958.3

Case Study

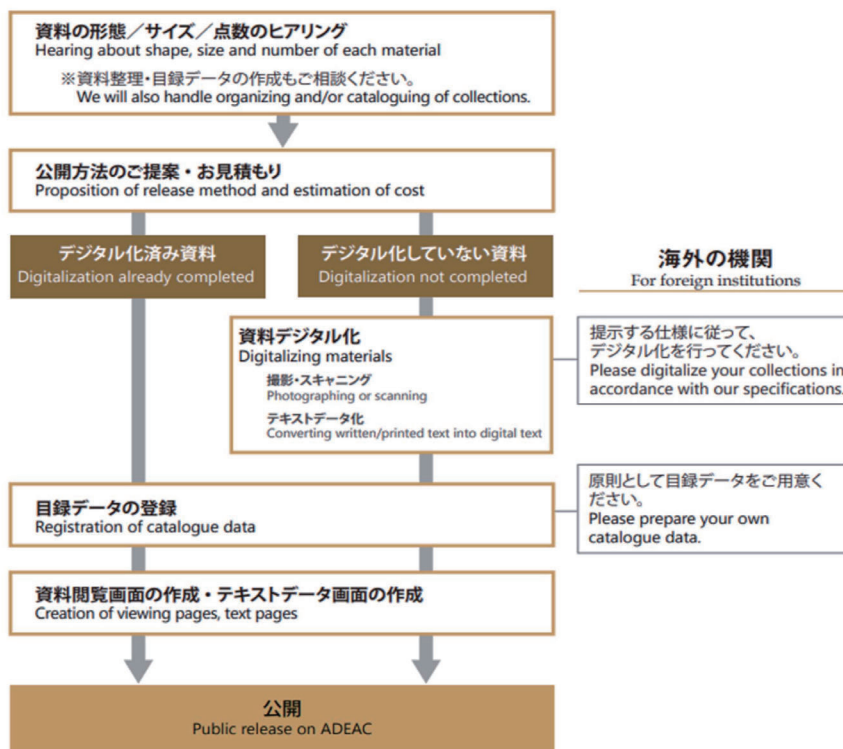


誌・写真・資料などをデジタル化する2つの作業を処理することでした。またデジタル画像にメタデータを作成する必要もあり、時間のかかる作業でした。

幸いにもクラウド型プラットフォームシステムを提供いただいたADEAC社が、テキスト化作業など公開にあたり万全の準備を、また各方面から修正指摘された内容に対して迅速に対応していただいたことに厚く御礼申し上げます。

これから博物館・図書館・公文書館などにおいて、このようなデジタル・アーカイブ化が加速されると予想されますが、予算獲得に苦労される中で助成金の活用とシステム構築への親身なパートナーの協力でクラウド型デジタル・アーカイブズが普及されることを願っています。

公開までの流れ The process to public release



ワンストップでデジタル・アーカイブを構築・公開

ラグビー 日本ワールドカップ



日本対アイルランド戦



日本対スコットランド戦

皆様の応援で、目標であり念願のベストエイト進出を達成いたしました。